



第四十九号 平成二十一年十二月九日(水)発行

# 六ツ美のふるさとを詠む

一筆啓上・作左の会主催

第6回ふるさと賞表彰式が、十一月二十八日(土)学区市民ホームで、百余名の参加者を迎えて開催されました。

はじめに、市川会長より、今回は六ツ美を中心にした募集にも関わらず、応募者が一、〇八九名あり、一、三二二作品に達したことに感謝の意を表わしました。



[市川会長より表彰される柴田さん]

続いて、来賓の西部小の小倉敏幸校長、六北中の山本悟校長から、この行事の意義をたたえる祝辞がありました。

## 最優秀作品

### (短歌の部)

りました。の指導がありました。表彰のあと、選者の甲村秀雄先生から、今回も光るものがあつた。作品作りで心掛けるといいことは他のものに例えるとよいと

小島資行先生からは、作品作りを通して自分を深く見つめることができるようになるとの話がありました。

いわし空ひとみにうつってにらめっこ

空は私に私は空に 六北中一年 柴田奈南

雨上がり遠望峰の山の雲切きれて

あしたは暑い夏の陽ざしか 中之郷町 岩月輝子

畑行き草取り手伝いつかれたら

近くのトマトをひとくちがぶり 六中三年 清水美咲

はすみ山緑のわたあめみたいだよ

雲にも負けないきれいな色 南部小六年 三浦瑠夏

たいようがぎらぎらひかるそらのした

いきものたちががんばっている 西部小六年 小林茉波

### (俳句の部)

グラウンド還らぬ夏の匂いする 六北中三年 鶴田 遊

ゆうやけよあしたみんなとあえるかな 中部小四年 赤堀浩美

新米に父の一筆添へて来る 若松東 柴田清美

セミの声夏限定の目覚時計 六中一年 松井里紗